

農研機構国際シンポジウム
「果樹産業のイノベーション創出に向けた世界の果樹研究」
開催要領

趣旨

本シンポジウムでは、ゲノム情報を活用した果樹のスマート育種システムの開発や、担い手農業者等のニーズに応えるAI等、新たなテクノロジーを活用した省力的・持続可能な安定生産技術の開発、果物の消費・輸出拡大に向けた技術開発研究について、国内外の専門家による最新の研究成果を紹介するとともに、果樹産業のイノベーション創出に向けた世界の研究動向について理解を深めます。

主催

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

開催日時

2019年11月1日（金）10:00～16:00

開催場所

つくば国際会議場 中ホール 200
（〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3）

参集範囲

果樹に関わる大学、試験研究機関の研究者・技術者、果樹研究分野に興味のある大学生、果樹の生産団体、生産者、行政機関等

使用言語

英語（同時通訳があります）

プログラム概要（タイトルは変更の可能性があります）

講演1 フロリダのカンキツグリーンング病：遺伝子工学による問題解決への展望

Prof. Fred Gmitter, University of Florida

講演2 INRA Angersにおけるリンゴの耐病性品種育成プログラム

Dr. François Laurens, Institut de Recherche en Horticulture et Semences, INRA

講演3 果樹研究におけるゲノミックセレクションとゲノムワイド関連解析（仮）

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 岩田 洋佳

講演4 カンキツ育種 2.0: ゲノム育種と系譜研究の融合による多様性拡大と高速育種の両立にむけた取り組み

農研機構果樹茶業研究部門カンキツ研究領域 上級研究員 清水 徳朗

講演5 タイにおける収穫後生理と病害研究

Associate Prof. Pongphen Jitareerat, King Mongkut's University of Technology Thonburi

講演6 貯蔵温度が果実の品質に及ぼす影響

農研機構果樹茶業研究部門カンキツ研究領域 上級研究員 松本 光

講演7 果樹研究における生物学と技術の交差点

Prof. Matthew D. Whiting, Washington State University

講演8 ジョイントV字トレリス樹形による果樹生産システム

神奈川県農業技術センター 主任研究員 関 達哉

参加費

無料

定員

200名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

参加申込み

10月25日（金）までに下記 URL よりお申し込み下さい。

（URL）<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2019/08/131998.html>

問合せ先

農研機構果樹茶業研究部門 企画連携室長 兼松聡子

Tel 029-838-6453 Fax 029-838-6440

e-mail nis19f@ml.affrc.go.jp

※メール送信の際は[]の[]を外してお送りください。